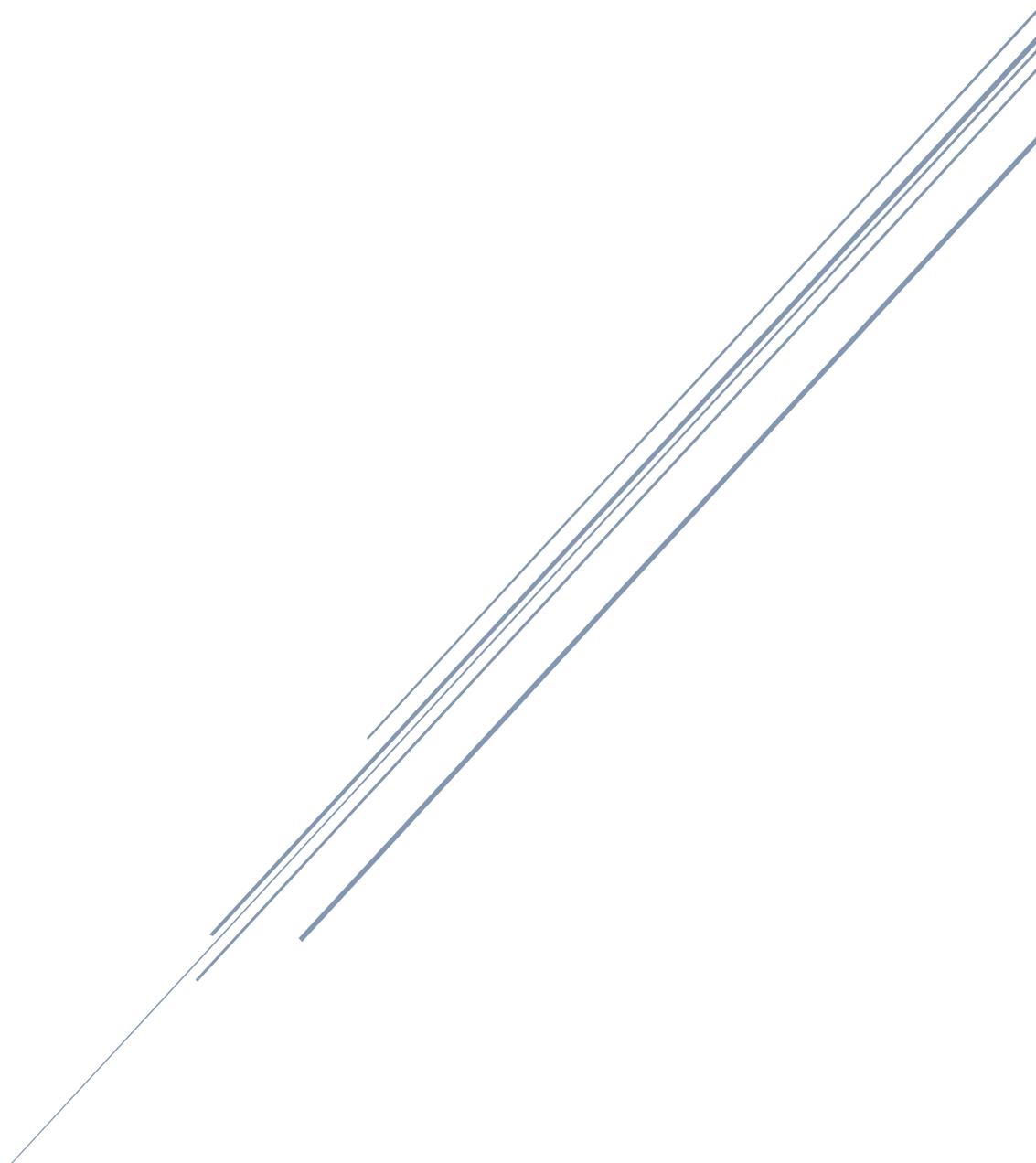


令和3年度（2021年度）

ニセコ町コミュニティ・スクール事業報告書



令和4年3月

ニセコ町コミュニティ・スクール委員会

令和3年度
ニセコ町コミュニティ・スクール事業報告書

も く じ

1	事業の概要	p 2
	(1) 事業の目的	
	(2) 令和3年度の組織体制	
2	事業の内容	p 3
	(1) 各学校・幼児センター学校運営にかかわる基本方針の承認	
	(2) ニセコ町コミュニティ・スクール委員会 全体会	
	(3) ニセコ町コミュニティ・スクール委員会 役員会	
	(4) ニセコ町コミュニティ・スクール委員会 部会活動・学校単位での活動	
	① 3部会：確かな学力・豊かな心・健やかな体	
	② 学校ごと：高校担当者会議	
	③ 学校支援ボランティア	
	(5) 広報活動	
3	令和3年度の成果と課題	p 7
4	令和4年度の方針について	p 8

1 事業の概要

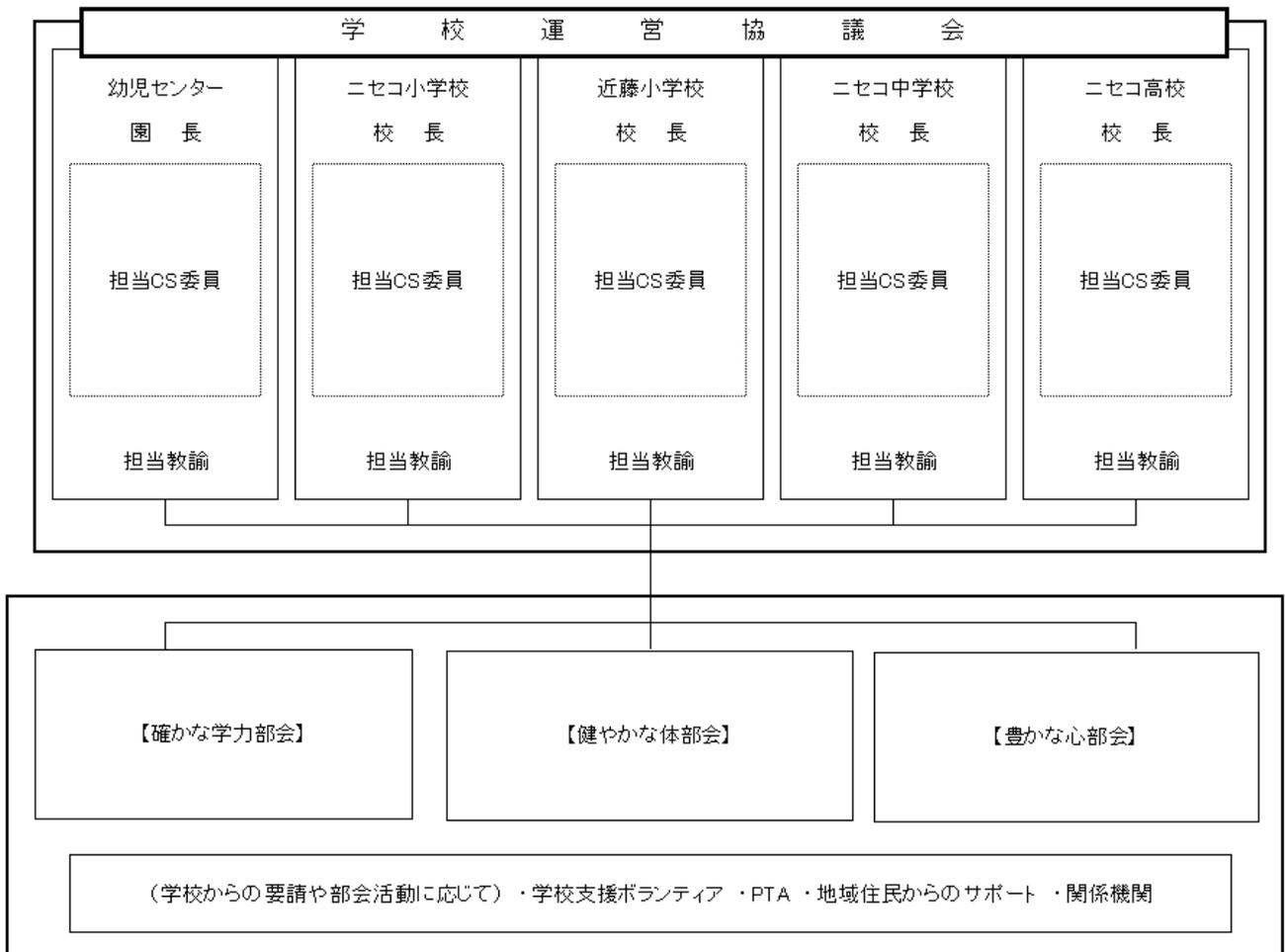
(1) 事業の目的

ニセコ町教育委員会では、全ての町立学校（幼児センター・小中高等学校）に学校運営協議会を設置し、子どもたちの課題共有や解決に向けた取組、学校支援活動などをさらに進め、地域資源や人材を積極的に活用したニセコらしいコミュニティ・スクールの取組を進めることを目的とする。また、子どもを育てていく意識の醸成を図るため、3つの部会を設置し、ニセコ町コミュニティ・スクール委員会（学校運営協議会）が主体となって活動を行う。

(2) 令和3年度の組織体制

◎目指す子ども像 「ニセコに誇りを持ち、たくましく生きる人」

◎重点項目 「地域で学ぶ」



2 事業の内容

(1) 各学校・幼児センター学校運営にかかわる基本方針の承認

○書面開催（4月～5月）

○内 容 ・各学校・幼児センター学校運営の基本方針の承認

■方針について委員からの質問・意見等を集約し、園長・各学校長から回答を得た後、承認。

(2) ニセコ町コミュニティ・スクール委員会 全体会

① 第1回ニセコ町コミュニティ・スクール委員会

○日 時 令和3年6月30日（水）午後6時30分から午後8時00分

○会 場 ニセコ町民センター 大ホール

○内 容 ・ニセコ町のコミュニティ・スクールとは
・令和3年度コミュニティ・スクール委員会事務局の広報活動について
・令和3年度年間計画・予算

② 第2回ニセコ町コミュニティ・スクール委員会

○日 時 令和3年10月12日（火）午後6時30分から午後8時00分

○会 場 ニセコ町民センター 大ホール

○内 容 ・コミュニティ・スクール委員会部会活動報告
・ニセコ町の学校評価の取組
・委員、校長との意見交流

③ 第3回ニセコ町コミュニティ・スクール委員会

○日 時 ・幼児センター、近藤小、ニセコ中、ニセコ高校

令和4年3月8日（火）午後6時30分から午後8時00分

ニセコ町民センター 大ホール

・ニセコ小

令和4年3月22日（火）午後6時30分から午後8時00分

ニセコ町民センター 小ホール

○内 容 ・コミュニティ・スクール委員会部会活動報告
・学校評価（共通項目）報告
・熟議

テーマ1 あるべきニセコのCSの姿～目指す子ども像を達成するために～

テーマ2 目指す子ども像と次年度の方針



(3) ニセコ町コミュニティ・スクール委員会役員会

① 第1回

- 日 時 令和3年9月7日(火) 午後6時30分から午後8時30分
- 会 場 ニセコ町民センター 小ホール
- 内 容 ・学校と地域の連携について
・令和3年度学校評価(共通項目)について

② 第2回

- 日 時 令和4年3月3日(木) 午後6時30分から午後8時30分
- 会 場 ニセコ町民センター 研修室2
- 内 容 ・活動の振り返りと全体会に向けて
・学校評価(共通項目)のまとめについて

(4) ニセコ町コミュニティ・スクール委員会 部会活動

① 部会活動

【確かな学力部会】

- 〈第1回〉 6月30日(水) 20:00~20:30 町民センター
- 〈第2回〉 7月13日(火) 18:30~20:00 町民センター
- 〈第3回〉 8月25日(火) 18:30~19:30 ニセコ町役場
- 〈第4回〉 10月29日(金) 18:30~20:00 総合体育館
- 〈第5回〉 11月17日(水) 18:30~20:00 町民センター
- 〈第6回〉 1月13日(木) 18:30~20:00 町民センター
- 〈高校生面接サポート〉 9月16日(木)(就職希望生徒:4名、面接官役:CS委員2名)
- 〈ニセコの冬の楽しみ方〉 1月18日(火)(中学2年生37名、CS委員6名)

【健やかな体部会】

- 〈第1回〉 6月30日(水) 20:00~20:30 町民センター
- 〈第2回〉 7月 8日(木) 18:30~20:00 町民センター
- 〈第3回〉 11月 8日(月) 18:30~20:00 町民センター
- 〈第4回〉 1月13日(木) 18:30~20:00 町民センター
- 〈登山〉 9月 5日(日) アンヌプリ登山 ※クマ出没により中止
- 〈ニセコの冬の楽しみ方〉 1月18日(火)(中学2年生37名、CS委員6名)



【豊かな心部会】

- 〈第1回〉 6月30日(水) 20:00～20:30 町民センター
〈第2回〉 7月 7日(水) 18:30～20:30 町民センター
〈第3回〉 11月11日(木) 18:30～20:00 ニセコ町役場
〈星空観察会〉8月 6日(金) 20:00～21:00 (小学生30名+保護者、委員4名)

② 学校ごとの活動

【ニセコ高校担当者会議】

- 〈第1回〉 8月19日(木) 18:30～20:00 町民センター
〈第2回〉 11月24日(水) 18:30～20:00 町民センター
〈高校PR動画・卒業生へのインタビュー〉 3月中旬から随時実施

③ 学校支援ボランティアの活動・講師紹介等

4月20日	おたすけまんの会(遊具等の設置)	【幼児センター】	2名
5月 6日	4年生図工授業のサポート	【ニセコ小学校】	2名
5月13日	4年生図工授業のサポート	【ニセコ小学校】	2名
5月20日	4年生図工授業のサポート	【ニセコ小学校】	1名
5月20日	グローバル人材育成講話	【ニセコ高校】	1名
5月27日	4年生図工授業のサポート	【ニセコ小学校】	1名
6月11日	グローバル人材育成講話	【ニセコ高校】	1名
7月 7日	新体力テスト補助	【ニセコ小学校】	1名
7月14日	プール支援	【幼児センター】	1名
7月16日	イワオヌプリ登山	【幼児センター】	3名
7月20日	プール支援	【幼児センター】	1名
8月25日	木工体験講師	【ニセコ小学校】	1名
10月29日	総合的な学習の時間講師	【ニセコ中学校】	2名
1月21日	スキー授業補助	【近藤小学校】	1名
1月26日	書き初め大会講師	【近藤小学校】	1名
1月28日	スキー授業補助	【近藤小学校】	1名
2月 1日	スキー授業補助	【ニセコ小学校】	1名
2月 4日	スキー授業補助	【ニセコ小学校】	1名
2月 7日	スキー授業補助	【ニセコ小学校】	1名



(5) 広報活動

①ホームページの更新

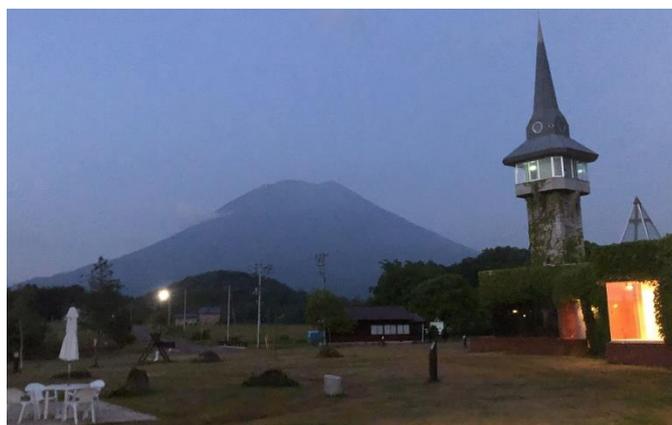
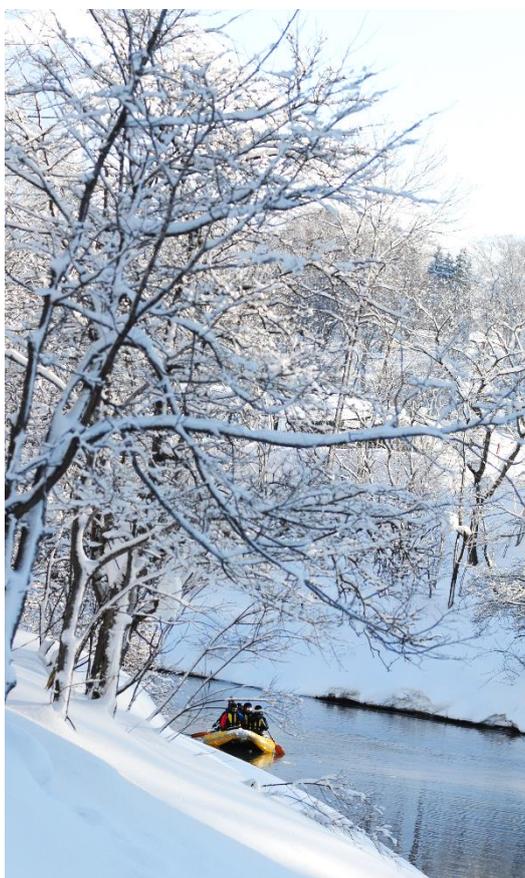
- ・ニセコ町教育委員会ホームページ内、「コミュニティ・スクールの取組」を随時更新

②ラジオニセコ

- ・「ニセココミュニティ・スクールタイム」出演（月1回）
放送日 毎月第2または第4火曜日 16:30～16:50

③広報ニセコ

- ・暮らしの情報内「CSチャンネル」掲載（年間4回）
- ・特集記事「地域みんなで子どもを育む」（令和4年2月号巻頭特集）



3 令和3年度 成果と課題

○委員の振り返りから

(1) 成果

①話し合いの機会について

- ・学校単位での話し合いの場を設ける機会があったのは良かった。コロナ禍における実情も交流できた。属する部会や担当学校以外のCS委員の方々とも課題や情報を共有できる良い機会だった。

②部会活動について

- ・コロナ禍においても様々な活動を実施し、子どもたちにできる限りのことができたのではないかと感じる。
- ・中学2年生に実施したイグルーと清流下りはまさしくCSの真骨頂だったと感じる。
- ・就職模擬面接に参加して、生徒が実際に就職できたので少しは役に立つ活動となったことを嬉しく感じた。このような思いは活動の継続には欠かせないことの一つと思う。
- ・星空観察会を始めとする企画は子供たちも楽しめたようでやってよかった。学校の先生の話から実施につながったものという点でも良かった。

(2) 課題

①話し合いの機会について

- ・学校や先生、保護者など様々な立場の違いはあるが、子どもが育つ環境を豊かにしていくという共通の理念を持っていると認識した上で、さらにざくばらんな話し合いをしていく必要がある。
- ・このコロナ禍だからこそCSの力を利用して貰い、子どもが楽しく明るく前向きになれる事を学校側と話をしていきたい。

②学校とCSの連携について

- ・やはり学校との連携は必要。困ったことはCSにも協力を呼びかけて欲しい。積極的に学校とCSとの距離を縮めていく必要がある。
- ・CS委員会と各学校の考え方に乖離がみられることがある。CSが学校の単なる下請けにならないよう、建設的に議論し、今よりも一歩を踏み出すべきだと思う。
- ・学校と地域のつなぎ役としてCS委員はまだまだやる事が有る。

③活動やあり方について

- ・活動の積極的なPRを。全体会の一般傍聴など広く取組について知ってもらっても良い。
- ・シンプル且つ効率の良い活動となる様に改善したい。
- ・CSの目的と役割、範囲を明確にし、保護者、地域、学校の理解と協力を得られるようにしていかなければならないと感じる。

(3) その他・提案

- ・あそぶっくや町のボランティア文化活動と学校をさらに結びつける役割をCSで担っても良い。(例えば、学校図書館の電子化はできているが、現在は蔵書検索機能がない。タブレットが使えるならば、学校のホームページの中に蔵書検索機能を作るなど。)
- ・各部会とも活動内容を増やすより、少なくとも良いので、内容が濃い活動に絞った方が成果は出るのでは。学校、地域、CSがもっと連携をして子供達の未来を支える活動にしていきたい。

4 令和4年度の方向性について

○第3回CS全体会熟議で出された意見から

(1) 3月8日 熟議（幼児センター・近藤小・ニセコ中・ニセコ高校）

【幼児センター】

- ・ニセコにあるものを知ること。外遊びで、ニセコの冬・雪を楽しめるような活動や、春夏秋冬を楽しむなど自然を大切にできるようにしたい。
- ・ニセコにいる人を知ること。海外の人との交流や、おじいちゃんおばあちゃんとの交流で昭和の遊びを知るなども必要。
- ・地域との交流、例えば菜園づくりの時に農業に詳しい方などが来てくれると嬉しい。牧場で牛とふれあう機会があってもよい。英語とのふれあいは海外の方と協力して取り組んでいきたい。

【近藤小】

- ・学校で困っていることが伝わっていない、地域は何を困っているのかわからない、という学校も地域もお互いに待っているような状態になっている。学校、地域と住み分けるのではなく、一体化していくことは必要。
- ・困っていることがあるのは保護者なのでは。CSに保護者の視点を入れ、それを見守る地域の視点があると良い。
- ・「たくましく生きる」に焦点をあてて話をした。今は「個」が強調されているが、人に歩み寄りながら生きていく姿勢は大事。コミュニケーションの取り方も、お互いの思いを流さずに時にぶつかりながら思いをぶつける、伝え合うことが必要。そのような人との関わり方を身に着けていければと考えている。

【ニセコ中】

- ・教育行政執行方針を生かした学校経営及び、CSの役割の理解を前提として、教育の場面ではどうしていくのかを考えることは重要なポイントである。
- ・企業へのかかわり方は、講話などで「生き方に関する指導」をお願いすることが多い。その際に、なんでもおまかせではなく学校としてどうしたいのか、何を目的にしているのかなどを明確にして依頼をしたい。また、交流の場も設けたい。
- ・PDCAのサイクルをしっかりとまわしていきたい。

(2) 3月22日 熟議 (ニセコ小)

【ニセコ小】

- ・学校のこと、子どもたちのことを、もっと委員の皆さんに知ってもらいたい。そのうえで、委員には地域と学校をつなぐ、地域の魅力や思いを伝えてほしい。
- ・地域のおじいちゃん、おばあちゃんとのふれあいの場を活用する。
- ・ニセコにはアートに詳しい方も多いので写生会の手伝いはできそう。SDGsなど関連させて、木を切るところから木工の体験をさせることも可能。
- ・ニセコならではの多様性を知る、感じる機会の設定。その中で病気への理解を深めることも必要。
- ・委員は学校の理解者であり、学校と意見を交えられる存在でありたい。また、地域と学校の調整役、学校の情報を地域へ発信するなども必要。新年度最初のPTA役員会で委員から説明や紹介もできる。
- ・地域の人からの応援やねぎらい、褒められる体験は子どもたちの自信につながる。様々な取組を通して、ニセコで育ったことを誇れる子どもに育ててほしい。

前原課長から

- ・ジェンダーフリーといいつつ、現実としてPTAは母親が参加していることが多い。父親が参加しにくいという雰囲気もある。そうであるならば、CSとして、父親が参加しやすい仕掛けをすることもできる。
- ・CSの取組は、まさに「まちづくり」そのもの。そこにいる人が生き生きとしていることで、「あんな大人になりたい」と子どもたちが思う。地域が魅力的であることが、地域を誇りに思う気持ちにつながる。これは、保護者ではなく地域で考えること。そのような視点もCSの役割として大切なのでは。

片岡教育長から

- ・CSの存在が地域、先生、子どもたちに定着するには接触の機会は大事なこと。委員が学校に行き子どもとふれ合うこと、見て感じて初めて出てくる思いもある。
- ・組織やCSの在り方を見直していく中で、CSの役割として地域に向けて広報やPRをする部会があってもよい。活動を広めていくことは今後大事になってくる。
- ・子どもたちには、ニセコの良いところを知ってもらいたい。学校の取組にCSの取組が繋がると良い。

(3) 考察とまとめ

- ・新型コロナウイルスの影響で活動が制限されている中、いまできることを検討し、委員からの積極的な意見やアイデアを生かし、各事業を展開することができた。
- ・各学校から様々な事業で学校支援ボランティアの活用が図られた。学校の要請に応じて今後も必要な人材を紹介できるよう努めたい。
- ・委員の振り返りや熟議で出された意見から、今後改善や検討が必要な点として、「学校単位での交流・話し合いの強化」「アクションプランの見直し」「部会の在り方について」「CSの広報」等が挙げられる。次年度、学校と地域のより深い議論を通して改善していく必要がある。